

平成 29 年度自転車製品事故情報 < 消費者庁公表 > の収集について
 (自転車等研究開発普及事業・自転車等技術支援)

(一財) 自転車産業振興協会 技術研究所

はじめに

当協会・技術研究所では、自転車等研究開発普及事業の一環として、自転車の品質確保と品質改善に寄与することを目的として、消費者庁が公表している自転車に関連する重大事故情報を収集したので、その概要を報告する。

平成 29 年度消費者庁公表の事故情報

消費者庁の重大製品事故情報は、製造事業者・輸入事業者からの事故報告を受けて公表されるが、公表の際、事故情報の分析を行い事故が製品に起因して生じたものか否かを区別して行っている。事故が製品に起因していると疑われる場合は事業者名、機種・型式、事故の内容等を、それ以外のものは事故の概要のみを消費者庁のHP等で公表している。

技術研究所では、消費者庁が公表した重大製品事故情報のうち、自転車関連情報については公表され次第、速報として技術研究所のHPに掲載して注意喚起を図っている。

平成 29 年度自転車関連の重大製品事故情報として掲載した事例は 35 件あった。技術研究所においてそれらを事故内容により分析した内訳は、表 1 に示すとおりである。事故件数は前年度 20 件に比べて 15 件増加した。事故内容別では自転車関係の事故情報は 9 件で前年度より 1 件増加した。また、電動アシスト自転車関係は 8 件で前年度より 6 件増加した。部品破損等は 8 件で前年度から倍増した。電動アシスト自転車用リチウムイオンバッテリーの充電中による火災事案が 10 件と前年度より 4 件増加した。なお、消費者庁が公表した重大製品事故情報抜粋の一覧は表 2 ~ 表 5 に示す。

また、自転車関連の重大製品事故件のうち、製品に起因していると疑われる事故は 10 件で前年度より 2 件減少した。残りの 25 件は製品起因か否かが特定できていないが、事故調査・原因分析を継続して行っているため、今後、原因等が特定される場合がある。

表 1 自転車関連製品事故情報の分析 () 内は製品起因が疑われる事故

事故内容		自転車関係	電動アシスト 自転車関係	部品破損等	バッテリー 関係	合 計
件 数	28 年度	8 (2)	2 (1)	4 (3)	6 (6)	20 (12)
	29 年度	9 (3)	8 (0)	8 (5)	10 (2)	35 (10)

28 年度は製品名に「折りたたみ自転車」を含めていたが、29 年度も事故事例がなかったことから、再整理して新たに「部品破損等」の項目を追加した。

表 1 の事故内容の分類は、表 2 ~ 5 の事故内容に基づいて技術研究所が独自に行ったものである。このため表 1 の事故内容ごとの件数は表 2 ~ 5 の製品名による分類に基づく件数とは一致しない。

事故内容ごとの報告内容概要〔事故内容・原因等は表2～表5を参照〕

自転車

9件の情報があり前年度より1件微増した。その事故内容は、走行中のハンドルロック(1件)、走行中の前輪外れ転倒(3件)、泥除け巻き込みなど乗員の身体に重大な影響を及ぼす恐れのある事例が報告されている。また、原因が特定できない走行中の転倒等が4件報告されている。

電動アシスト自転車

8件の情報があり前年度より6件増加した。走行中のハンドルロック(3件)、こぎ始めの転倒(1件)のほか、原因が特定できない走行中の転倒等が2件報告されている。

部品破損等

8件の情報があり前年度より4件増加した。走行中のクランク軸・サドル部・ハンドル・ペダル・ブレーキレバー破損(6件)が報告されており、いずれも走行中の乗員の身体に重大な影響を及ぼす恐れのある事例と考えられる。

バッテリー火災(電動アシスト自転車用)

リチウムイオンバッテリーの充電中等の火災事例が10件あり前年度より4件増加した。そのうち製品起因が疑われる事例として2件が報告されている。対象品は一部リコールが実施されている。

社告(リコール等)について

平成29年度に公表された自転車関連の社告(リコール等)は3件であった。その内訳は、ハンドルバーの割れ(1件)、フロントフォークの破損(2件)があり、経済産業省及び各社のHPにより情報公開されている。

おわりに

自転車製品事故情報を収集・整理し、それらの情報を分析した上で、必要に応じてJISの改正、技術的課題の解決、原因究明等に繋げていくことが必要であると考え。そのため、技術研究所では自転車等研究開発普及事業の一環として、今後も自転車製品事故情報を継続して収集し、分析等を加えるとともに、必要に応じて製品事故事例が緊急性を要するもの、或いは消費者への波及が心配されるものの原因究明調査等を行い、消費者の安全確保と品質改善に寄与していく所存である。併せて、個々の製造・販売事業者よりの試験依頼、原因究明調査にも対応していくのでご活用をお願いしたい。

以 上

表2 消費者庁公表自転車関連製品事故情報抜粋(その1)

「製品起因か否かが特定できていない事故」案件については事業者名を記載していない。

管理番号	製品名	事業者名	事故内容	備考
A201700050	電動アシスト自転車用バッテリー(リチウムイオン)	神田無線電機(株)(輸入事業者)	自転車保管場で当該製品を自転車の前かごに入れていたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。事故の原因は、現在、調査中であるが、当該製品の結露対策が不十分であったため、制御基盤上の絶縁性が低下し、出火に至ったものと考えられる。	製品起因が疑われる事故[平成26年12月15日からリコールを実施]
A201700060	電動アシスト自転車		当該製品をこぎ始めたところ転倒し、左腕を負傷した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201700094	電動アシスト自転車		使用者(80歳代)が当該製品で走行中、転倒し負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201700103	電動アシスト自転車		使用者(70歳代)が当該製品で走行中、ハンドルがロックし転倒、負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201700123	電動アシスト自転車		当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201700148	電動アシスト自転車		保護者が乳児(0歳)を背負い、幼児2名(2歳、4歳)を当該製品に乗せた状態で下り坂を走行中、ブレーキが効かず壁に衝突、転倒し保護者及び幼児1名が重傷を負った。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201700150	電動アシスト自転車		当該製品からバッテリーを取り外して充電中、当該製品のバッテリーを焼損する火災が発生した。当該製品の充電器の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故 [H29.5.25 消費者安全法の重大事故情報等として公表済]
A201700197	自転車	新家工業(株)(輸入事業者)	当該製品で走行中、前輪が外れ転倒し、負傷した。現在、原因を調査中。	製品起因が疑われる事故
A201700216	自転車	GSジャパン(株)(輸入事業者)	当該製品で走行中、当該製品の右ペダルが破損し、転倒、負傷した。現在、原因を調査中。	製品起因が疑われる事故

表3 消費者庁公表自転車関連製品事故情報抜粋（その2）

管理番号	製品名	事業者名	事故内容	備考
A201700223	自転車		当該製品で走行中、後輪がロックし転倒、負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201700229	自転車	ブリヂストンサイクル(株)	当該製品で走行中、ハンドルがロックし転倒、負傷した。調査の結果、当該製品はハンドルロック(前錠)とサークルロック(後輪錠)の組み合わせによって、前後錠前が連動する盗難防止機能を備えており、施錠・開錠はハンドルロックの「赤色」、「青色」のインジケータで表示するものである。当該製品のハンドルロックのインジケータ表示部(ケース外殻)に肉薄部を設け、過度の荷重が加わったときには同部が割れ、使用者に故障を知らせるものであったが、ハンドルロックが故障した際、使用者がハンドル操作及び錠の動作に異常があることを認識していたにもかかわらず使用を継続していたため、事故に至ったものと推定される。なお、使用者はハンドルロックの故障時にインジケータが開錠状態であることを示す「青色」だったため、ハンドルロック部の破損を看過した可能性があること、また、取扱説明書の説明が十分ではなかった可能性があることも事故発生に影響したものと考えられる。	製品起因が疑われる事故[平成29年7月25日に製品起因か否かが特定できていない事故として公表]
A201700264	電動アシスト自転車		保護者が乳児(6ヶ月)を前に抱っこした状態で当該製品で走行中、左ブレーキレバーが破損し、電柱に衝突、保護者が負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201700288	自転車		当該製品で下り坂を走行中、転倒し負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201700390	電動アシスト三輪自転車		当該製品で走行中、転倒し右肩を負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201700392	電動アシスト自転車		当該製品のバッテリーを充電中、当該製品の充電器を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故

表4 消費者庁公表自転車関連製品事故情報抜粋（その3）

管理番号	製品名	事業者名	事故内容	備考
A201700285	電動アシスト自転車	ブリヂストンサイクル(株)	当該製品で走行中、当該製品のハンドルがロックし転倒、負傷した。調査の結果、当該製品はハンドルロック(前錠)とサークルロック(後輪錠)の組み合わせによって、前後錠前が連動する盗難防止機能を備えており、施錠・開錠はハンドルロックの「赤色」、「青色」のインジケータで表示するものである。当該製品のハンドルロックのインジケータ表示部(ケース外殻)に肉薄部を設け、過度の荷重が加わったときには同部が割れ、使用者に故障を知らせるものであったが、ハンドルロックが故障した際、使用者がハンドル操作及び錠の動作に異常があることを認識していたにもかかわらず使用を継続していたため、事故に至ったものと推定される。なお、使用者はハンドルロックの故障時にインジケータが開錠状態であることを示す「青色」だったため、ハンドルロック部の破損を看過した可能性があること、また、取扱説明書の説明が十分ではなかった可能性があることも事故発生に影響したものと考えられる。	製品起因が疑われる事故〔平成29年8月15日に製品起因か否かが特定できていない事故として公表〕
A201700393	電動アシスト自転車		当該製品のバッテリーを充電したところ、当該製品の充電器を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201700394	電動アシスト自転車		当該製品のバッテリーを充電中、当該製品の充電器を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201700410	自転車		当該製品で走行中、前輪のスポークが折れ転倒し、負傷した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201700428	自転車		当該製品で走行中、前輪が外れ転倒し、負傷した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201700438	自転車		当該製品で走行中、前輪が外れ転倒し、負傷した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201700459	電動アシスト自転車		当該製品で走行中、転倒し負傷した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故

表5 消費者庁公表自転車関連製品事故情報抜粋（その4）

管理番号	製品名	事業者名	事故内容	備考
A201700491	自転車		当該製品で下り坂を走行中、転倒し負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201700512	自転車	(株)ジャイアント (輸入事業者)	当該製品で走行中、ハンドルが破損し転倒、左肩を負傷した。現在、原因を調査中。	製品起因が疑われる事故
A201700513	自転車	(株)ジャイアント (輸入事業者)	当該製品で走行中、サドルが破損し転倒、腰を負傷した。現在、原因を調査中。	製品起因が疑われる事故
A201700598	電動アシスト 自転車		当該製品で走行中、当該製品のサドル部が破損し転倒、右足を負傷した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201700615	自転車	(株)エンドウ商事 (輸入事業者)	当該製品で走行中、当該製品のクランク軸が破損し転倒、左足を負傷した。現在、原因を調査中。	製品起因が疑われる事故
A201700637	電動アシスト 自転車	(株)カイホウジャ パン(輸入事業者)	当該製品のバッテリーを充電中、当該製品のバッテリー及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	製品起因が疑われる事故
A201700643	電動アシスト 自転車		駐輪場に置かれていた当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201700659	自転車	アニマト(株)(輸 入事業者)	当該製品で走行中、サドル部が破損し転倒、脚を負傷した。現在、原因を調査中。	製品起因が疑われる事故
A201700671	電動アシスト 自転車		当該製品のバッテリーを充電中、当該製品の充電器を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201700705	電動アシスト 自転車		使用者(80歳代)が当該製品で走行中、転倒し左脚を負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201700758	自転車		当該製品で走行中、転倒し左手指を負傷した。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201700770	電動アシスト 自転車		当該製品のバッテリーを充電中、当該製品の充電器を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故

表5 消費者庁公表自転車関連製品事故情報抜粋（その5）

管理番号	製品名	事業者名	事故内容	備考
A201700785	泥除け(電動アシスト自転車用)		自転車で走行中、自転車に装着していた当該製品が前輪に巻き込まれ、前輪がロックして転倒、負傷した。当該製品の取り付け状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故